

文化経済学会<日本> 2013年度 研究大会

●日程 2013年6月28日(金)・29日(土)・30日(日) ※28日はエクスカージョン

●会場 東京大学 本郷キャンパス

分科会:法文1号館(113教室、212教室、214教室、216教室)

会長講演、基調講演、シンポジウム、総会:法文2号館一大教室

●大会テーマ「文化と経済～理論・実証・政策と『現場』」

●主催 文化経済学会<日本>

《プログラム》

2013年6月28日(金)

16:00～18:00 エクスカージョン (1) 秋葉原コース
15:00～18:00 エクスカージョン (2) 渋谷コース
14:00～16:00 エクスカージョン (3) 谷根千まちあるき

2013年6月29日(土)

受付開始: 9:00～ 受付開始(法文1号館115教室)

10:00～11:45 分科会① 《法文1号館(A:113教室、B:212教室、C:214教室、D:216教室)》

※①-Dは ①-A 理論と実証

11:10 終了 ①-B 政策と評価

①-C まちづくり

①-D クリエイティブ産業

11:45～13:00 ランチタイム / 理事会 《法文1号館(315教室)》

13:00～13:50 会長講演 《法文2号館一大教室》

「劇場研究から文化経済学へ」

清水裕之文化経済学会<日本>会長

13:50～14:00 休憩

14:00～15:00 基調講演 《法文2号館一大教室》

「『グローバル化』における文化の役割」

中谷巖氏(三菱UFJ リサーチ&コンサルティング理事長)

15:00～15:10 休憩

15:10～17:40 シンポジウム 《法文2号館一大教室》

『文化の現場から～非営利セクターとアーツカウンシルをめぐって』

コーディネーター 片山泰輔氏(静岡文化芸術大学)

パネリスト キム・ヘボ氏(ソウル文化財団)

金代健次郎氏(公益財団法人福武財団)

樋口貞幸氏(NPO 法人アートNPO リンク)

吉田 梓氏(文化庁)

太下義之氏(三菱UFJ リサーチ&コンサルティング)

17:40～18:00 シンポジウム終了・移動

18:00～20:00 懇親会 会場:カポ・ペリカーノ

(東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟)

2013年6月30日(日)

受付開始: 9:00～ 法文1号館115教室

10:00～11:45 分科会② 《法文1号館(A:113教室、B:212教室、C:214教室、D:216教室)》

②-A 文化施設

②-B 文化支援をとりまく制度

②-C 支援と自立

②-D 創造都市

11:50～12:30 総会 《法文2号館一大教室》

12:30～13:30 ランチタイム

13:30～15:50 分科会③ 《法文1号館(A:113教室、B:212教室、C:214教室、D:216教室)》

※③-Bは ③-A 伝統文化・芸能

15:15 終了 ③-B アートプロジェクト

③-C 文化政策

14:40 終了 ③-D イノベーションと発展

《分科会プログラム》

■ 6/29 (土) 分科会 ① 10:00~11:45 ※①-Dは11:10 終了

①-A 理論と実証

座長：有馬 昌宏

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
113 教室	八木 匡	Nonlinear Effects of Superstar Collaboration: Why the Beatles Succeeded but Broke Up	周防 節雄
	阪本 崇	「コスト病」の再検討 ～漸近的停滞部門と内部相互補助の概念を中心に～	北村 裕明
	保原 伸弘	Do winner always love aggressive music or movie?: Study about the phenomena that sad music is sustainedly loved even in economic boom	八木 匡

①-B 政策と評価

座長：佐々木 亨

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
212 教室	國盛 麻衣佳	旧産炭地の形成と再生に関わる芸術文化創造活動の意義に関する研究	美山 良夫
	小林 瑠音	芸術の社会的インパクトをどう評価するか ～英国における評価手法と政策的背景～	河島 伸子
	吉田 隆之	ワークショップによる簡便な政策評価手法の妥当性等の検討 ーあいちトリエンナーレの政策評価を事例にー	川崎 賢一

①-C まちづくり

座長：佐々木 晃彦

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
214 教室	藤原 恵洋	国登録有形文化財を契機とした都市遺産のまちづくりの活用に関する検討 ～熊本県菊池市における菊池文化資源総合調査の現場から～	米屋 尚子
	野田 邦弘	アートプロジェクトと地域の関係 ～まちづくりにおけるアートプロジェクトの可能性～	曾田 修司
	大前 研二	ミノカモ学生演劇祭によるまちづくりの実証研究	米屋 尚子

①-D クリエイティブ産業

座長：後藤 和子

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
216 教室	稲熊 太郎	アニメ産業におけるアニメーターの労働市場・キャリアアップの構造について ～制作会社等へのヒアリング調査結果から～	後藤 和子
	鈴木 大輔	CURATORS TV：アートのサービス・イノベーション ギャラリーートークのアーカイブ・配信を通じた、アートへのアクセシビリティ向上と創造的産業創出	太下 義之

■ 6/30 (日) 分科会 ② 10:00~11:45

②-A 文化施設

座長：清水 裕之

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
113 教室	岩井 千華	地域の文化形成に寄与する図書館の成立と発展 ～歴史的考察と今後の可能性～	佐々木 亨
	土屋 正臣	市民参加による公立博物館建設における行政の役割 ー野尻湖ナウマンゾウ博物館を事例としてー	佐々木 亨
	新藤 浩伸	公共ホールおよび公民館のアーカイブ活動の意義と課題	草加 叔也

②-B 文化支援をとりまく制度

座長：伊藤 裕夫

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
212 教室	中村 美帆	生存権における文化の思想	友岡 邦之
	梅原 宏司	戦後直後の「文化国家」に関する議論 －戦前からの継続と変化について－	中谷 武雄
	青木 幸子	ドラマ手法を用いた国語教材のレッスン ～李徴の思いをからだで感じてみたい～	衛 紀生

②-C 支援と自立

座長：片山 泰輔

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
214 教室	小林 好宏	若手芸術家支援の方策とその経済効果 ～北海道のケースと関連して～	増淵 敏之
	石垣 尚志	映画館の社会的機能と映画館への支援についての考察 －地方都市のミニシアターを事例として－	増淵 敏之
	勝村 務	NPO として歩むクアルテット・エクセルシオ －常設弦楽四重奏団の存立への挑戦－	吉本 光宏

②-D 創造都市

座長：井口 典夫

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
216 教室	川井田 祥子	創造農村の成立要因に関する一考察 ～兵庫県篠山市の取り組みから～	野田 邦弘
	佐藤 忠文	創造都市における朝市の可能性と課題 ～熊本県菊池市における「湯ったり菊池の軽トラ朝市」の現場より～	野田 邦弘
	鈴木 美和子	創造都市のデザイン政策：社会包摂に向けたブエノスアイレス市の取り組み	藤原 恵洋

■ 11:50～12:30 総会（法文2号館一大教室）

■ 6/30（日） 分科会 ③ 13:30～15:50 ※③-Bは15:15終了、③-Dは14:40終了

③-A 伝統文化・芸能

座長：中谷 武雄

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
113 教室	森崎 美穂子	和菓子における消費性向の変化と都市文化の多様性 －統計に基づく分析より－	勝浦 正樹
	坂部 裕美子	「伝統芸能」の定義の再確認	阪本 崇
	清水 麻帆	地域経済における伝統工芸産業の潜在的可能性と持続可能性に関する文化経済学的観点からの一考察 －沖縄の事例研究より－	古池 嘉和
	高島 知佐子	伝統芸能の鑑賞者開発におけるコーディネーターの役割	山田 太門

③-B アートプロジェクト

座長：曾田 修司

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
212 教室	藤原 旅人	アートボランティアが支えるアートプロジェクト、アートプロジェクトが支えるアートボランティア ～アートボランティアとミュージアムボランティアの比較研究から～	熊倉 純子
	長津 結一郎	障害者の表現活動と「他者化」 －「アウトサイダー・アート」をめぐる議論－	川井田 祥子
	谷口 文保	アートプロジェクトの意義に関する研究 －現代芸術の実験、文化政策の発展、市民社会の形成の観点から－	吉本 光宏

③-C 文化政策

座長：河島 伸子

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
214 教室	川崎 賢一	転換期にあるシンガポールの文化政策	後藤 和子
	林 宰寛	韓国の地方都市における文化政策の運用実態 —大邱広域市の舞台芸術に関する施策を事例として—	伊藤 裕夫
	岩室 秀典	自治体における文化振興ビジョン・プランの策定状況	伊藤 裕夫
	後藤 和子／ 柳 与志夫	文化情報資源の創造と活用をめぐる政策の現状と課題 —知的財産としての文化情報資源—	井口 典夫

③-D イノベーションと発展

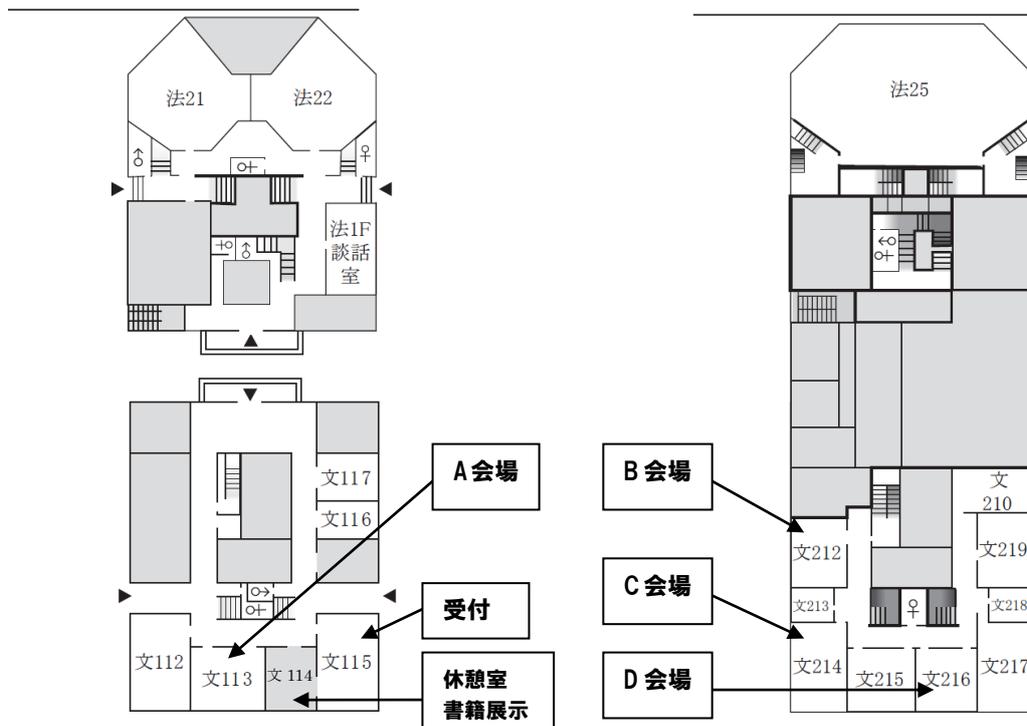
座長：八木 匡

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
216 教室	呉 玮嬌	中国における都市広場の文化的な機能と意義に関する研究	佐々木 雅幸
	矢澤 利弘	コンテンツ産業におけるインキュベーション活動	勝村 務

■ 分科会会場案内図（法文 1 号館）

法文 1 号館 -1 階

法文 1 号館 -2 階



～ 2013 年度 秋の講演会のご案内 ～

2013 年 11 月 3 日(日) 午後

シンポジウム 北海道教育大学札幌駅前サテライト(中央区北 5 条 5 丁目、札幌駅徒歩 3 分)

懇親会 シンポジウム終了後、札幌駅前周辺で開催(場所未定)

※ 上記日程等は変更になる場合がありますことご了承ください。詳細は順次、学会ホームページ等で広報されますので、適宜そちらの情報をご参照ください。

文化経済学会<日本>事務局

TEL:03-5907-3750 FAX:03-5907-6364 e-mail:g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp
〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3-21-10 アーバン大塚 3F (株)ガリレオ 学会業務情報化センター内
学会ホームページ: <http://www.jace.gr.jp/>